

北横岳/縞枯山・入笠山山行報告書

(山域) 八ヶ岳・南アルプス(北横岳/縞枯山・入笠山)

(コース) 1/28: ロープウェイ山頂～北横岳～縞枯ヒュッテ～縞枯山～ロープウェイ山頂
1/29: 沢入登山口～入笠山～沢入登山口

(日時) 1月28(土曜日)～1月29(日曜日)

(天候) 1/28 晴れ(弱風)・1/29: 快晴(微風)

(参加者) CL: 内堀(記録)・小宮山・(会員外)・(会員外)

(山行タイム)

1/28: ロープウェイ山頂 10:05～北横岳 11:10～縞枯山荘 12:30～縞枯山 13:30～ロープウェイ山頂 15:00

1/29: 沢入登山口 9:10～入笠湿原 10:20～入笠山 11:30～沢入登山口 14:30

(山行報告)

1/28

前日の夜(1/27: 金曜日) 千葉駅北口に 21:30 集合して出発する。今回は小宮山さんの病院関係、山の会の方がと簡単なスノーハイキングを計画した。穴川ICから首都高・中央道と進み、双葉SAで休憩を取り出発する。小淵沢ICに降りる時間が0:00前のため八ヶ岳PAで時間調整して、何とか0:00時過ぎに通過となり深夜割引(30%)をゲットする。小淵沢ICから何時もは右側に向かうのだが、本日は左側に曲り道の駅「蔦木宿」に向かう。結構車がいる。本日風が強いため風を避け、テントを張る。軽く宴会を行い就寝する。

朝方寒さで目が覚めてしまう。ダウン上下着ず寝てしまったようである。ガスを付け暖を取る。食事もこの前の余りのラーメンを4個丸ごと投入して、女子3名なのに全て平らげてしまった。元気な証拠である。朝食後はテントを片付け出発する。途中コンビニにより行動食を購入する。この日の北八ヶ岳ロープウェイ駐車場は結構混んでいる。9:00前であるが既にゴンドラが人を乗せ動いていた。登山準備を済ませロープウェイ券を購入する。タイミングよく9:30のロープウェイに乗れた。ロープウェイからは北アルプス・南アルプス・中央アルプスの山々が見え、雲一つない景色を堪能する。ロープウェイ山頂でアイゼンを装着し記念撮影を済ませる。

坪庭を通過して北横岳方面に向かう。途中小さな橋を渡り登り坂に入る。この日、相当の登山者が入っており、すれ違いや追い抜き等が頻繁に発生し思った以上に時間が掛り、北横岳ヒュッテに到着する。風もなく穏やかな天気である。休憩後はあっと言う間に北横岳北峰に到着する。山頂はやはり風が吹いている。しかし、思った以上に風は強くなく我慢できるレベルである。記念撮影後は南峰に向かい雄大な景色を堪能する。南アルプス・北アルプス・南八ヶ岳等360度ビューである。晴天とは感動を更に引き立てて頂けるものである。嬉しい限りである。

北横岳からは一気に下り縞枯ヒュッテで昼食休憩する。スノーシューの方々が多いいね。比較的緩やかなルートであるためである。休憩後、縞枯山に登り、その先の展望台向かう。午後になっても雲一つない。ここまで見えるのは珍しい。本日のビュースポットはここが最後であるため、時間を掛け目に焼き付け、心のシャッターを切っていた。下りは一気に進みロープウェイ山頂に到着した。スキーヤーはロープウェイからドンドン降りてきて時間を有効に使うため、直ぐ滑り落ちていた。

我々は次のロープウェイの先頭に並び、ロープウェイでは一番良いビュースポットを確保した。最後の最後まで青空と遠く見える雪山を見続け、ロープウェイ到着する事も忘れてしまった。山麓では帰り支度を済ませ、「縄文の湯」にて汗を流しリフレッシュする。本日の宿、道の駅「はくしゅう」に向かう。途中、日が落ちるまで八ヶ岳には雲一つない景色を見ることが出来た。道の駅隣にあるスーパーで買出しして、テントを張り、食事の準備を行う。ある程度整った所で、宴会スタートする。ビール・日本酒・ワインと開け進む、まだ飲むのかなと思いつつ、時間だけが過ぎて行く。時計を見ると23:30時を回っており、慌てて寝袋に入りこむ。爆睡してしまった。





1/30

早朝 6:00 過ぎに起床する。少しお酒が残っている。昨日と比べると相当暖かい。外の天気はと見ると、本日も雲一つない天気である。朝食後は外の雰囲気慌ただしくなり、テントを撤収する。その後はのんびりと着替え、歯磨きと進み出発する。20号線を富士見方面に進め、富士見パノラスキー場方面に進み、途中より左折して沢入登山口に向かう。標高が高くなり日陰になると道路に雪が付いており、慎重に車を進める。駐車場には5台程度の駐車車両があった。意外と少ない。ゴンドラで登るのかな。準備を整え登山開始する。登山口から雪がついておりラッキーである。靴が汚れない。去年は山頂直下しかなくドロドロの道を歩き登山靴が汚れた記憶が蘇る。登りはアイゼンもつけず入笠湿原まで進める。ここに来ると人は多い。やはりゴンドラ利用者。マナウス山荘を横目に更に進め、山頂直下の急登をクリアすると入笠山である。途中より笠雲が発生しており、天気は崩れて行くようである。山頂からは北アルプス・南アルプス・八ヶ岳が目に見え、360度ビュースポットである。山頂には相当(50人程度)の方々があった。人気の山なんですね。簡単に登れて景色が堪能できるとは嬉しい限りです。皆さんそれぞれのポーズを取り写真に納まりました。その後は、入笠山スキー場跡まで戻り、ピッケルワークを練習してマナウス山荘で巨大カツカレーとソースかつ丼を皆で美味しく食べました。ここのご飯は美味しいですね。マナウス山荘を出てみると、13:30を回ってもドンドン人が押し寄せてくる。簡単に登れて最高の景色を堪能出来るため、天気を見て登る人たちも多いようです。我々はゴンドラ組を後にして、沢入登山口にゆっくり下山した。下山後は車を飛ばし「ゆーとろん水神の湯」で汗を流した。スキー客が多く湯船・カランも少なく今一つであった。蔦木宿の中にある温泉の方が良い事が判った。入浴後は、小淵沢ICから渋滞もなくスムーズに進み、2.5Hで千葉駅北口に到着した。冬は中央道の山に限る。道路事情が良い。

今回2日間とも晴天に恵まれ楽しい山行であった。青空とは皆様を笑顔にします。





以上